

木造軸組工法

検査チェックシート

	丹澤邸 新築工事		
建築主	丹澤 幸博 様	建設地	笛吹市八代町増利字 屋敷ノ内1911番1

モジュール: 尺 / m

区 分	軀 体 検 査	
	初回検査	再検査
検査年月日	2019年 8月 26日	019年 9月 14日
監理者	飯沼 直己	飯沼直己

軀 体 ・ 防 水																			
適用		チェック内容		確認	メ	モ	適用		チェック内容		確認	メ	モ	指示事項及び是正状況確認					
記 録 確 認 (軀 体)		アンカーボルトは筋違の取付柱(引抜部)の下部に取付てあるか	レ	写真	小 屋 組		桁と柱の接合部はよい	レ											
		アンカーボルトは継手・仕口の近くにあるか	レ	写真			桁と小屋梁の接合部はよい	レ											
		アンカーボルトの締付は適切か	レ	写真			小屋束の位置及び接合はよい	レ										確認欄の【後】部分は未施工のため後日再検査	
		床束の間隔・緊結状態は仕様書どおりか	レ	写真			小屋筋違、桁行筋違の取付及び方法はよい	レ											
		床束の著しい倒れはないか	レ	写真			垂木の間隔は図面のとおりか	レ		合格								後部分を確認。再検査合格とする 9/14	
		基礎パッキンの設置位置	レ	写真			鼻隠しから、タルキへの釘打ちはよい	レ											
		土台用金物ボルト締め	レ	写真			軒の出寸法(軒先～壁芯)は設計図書どおりか	レ											
		土台と大引金物の取付はよい	レ	写真			棟換気下地はよい	レ											
		1階床下の断熱材の施工は設計図書のとおりか	レ	写真			小屋組材の釘の打ち損じはない	レ											
		屋根下地張り合板の釘打ち(N50 外周@150 中間@150)	レ	写真			屋根勾配は設計図書どおりか(4 /10勾配)	レ											
							火打ち金物の取付位置は図面のとおりか	レ											
		外壁構造用合板・パテイルボード 釘打ちピッチ	レ	写真			垂木の軒先部にひねり金物は設置されているか	レ											
		外壁構造用合板・パテイルボードの釘頭めり込み (1.5mm以内)	レ	写真															
1 階 ・ 2 階 軸 組 (土 台 ・ 床 ・ 柱 ・ 梁 ・ 筋 違 等)		柱脚金物の位置及び取付方法はよい	レ		防 蟻 ・ 断 熱		防腐防蟻処理(薬剤による着色確認 FL+1m迄)	レ						合格			各室の床レベル差は最大2mm ≦ 基準値2mm		
		床合板の仕様と釘打ちはよい(N75@150)	レ				浴室・玄関の基礎立上り断熱材の取付(外部50mm・内部20mm)	後	レ					合格			柱の傾きは最大2mm ≦ 基準値3mm		
		床合板への釘打のめり込み (3mm以内)	レ				基礎立上り断熱材の配管貫通部ウレタン充填	後	レ										
		床合板の釘の打ち損じはない	レ				外気に接する床下断熱材は仕様書通りか	レ											
		床合板上端のレベル差はよい(各部屋2mm以内)	レ				室内上バルコ・屋上の床下断熱材は仕様書通りか	後	レ										
		通柱・管柱の取付位置は設計図書の通りか	レ																
		通柱と土台との接合はよい	レ																
		管柱と土台との接合はよい	レ																
		柱は垂直に建っているか(1/800・傾き:3mm以下)	レ																
		土台継手・床下連絡口は柱位置からにげている	レ			造 作 工 事		各開口部の位置、高さ	後	レ									
		筋違の取付位置及び方向性は設計図書の通りか	レ																
		筋違の接合方法は適切(筋違金物使用)	レ																
		開口部の高さとは図面のとおりか(注:階段窓)	レ																
		柱と胴差・梁・桁との接合部は適切	レ																
	胴差と梁の接合はよい	レ			サ ッ シ 工 事		シャッター雨戸の取付(シャッターBOXカバーを除くレール枠)	レ											
							サッシの取付け ・掃き出しサッシの水平、垂直精度、水切シート	後	レ										
							バルコニー掃き出しサッシ頭の防水処理・開き窓等の吊元確認	後	レ										
							ガラスの種類、サッシ性能	後	レ										
					現 場 管 理		使用材料は仕様書通りか(樹種・サイズ)	レ											
							材料の極端な割れ、反り、捻じれ(有・無)	レ											
							使用材料の仕様 (樹種・サイズ)	レ											
							材料の極端な割れ、反り、捻じれ(有・無)	レ											
							現場の整理整頓	レ											
バル コ ニー		バルコニー手摺壁の通り、高さ	レ				写真等書類												
		バルコニー床の出寸法、長さ	レ																
		バルコニー防水の仕様はよい	後	レ															
		ドレイン位置及び排水管の貫通部コーキング	後	レ															
		バルコニーの水勾配	後	レ															
	オーバーフロー管高さの確認(バルコニーサッシ下端以下)	後	レ																